

## ご 注 意

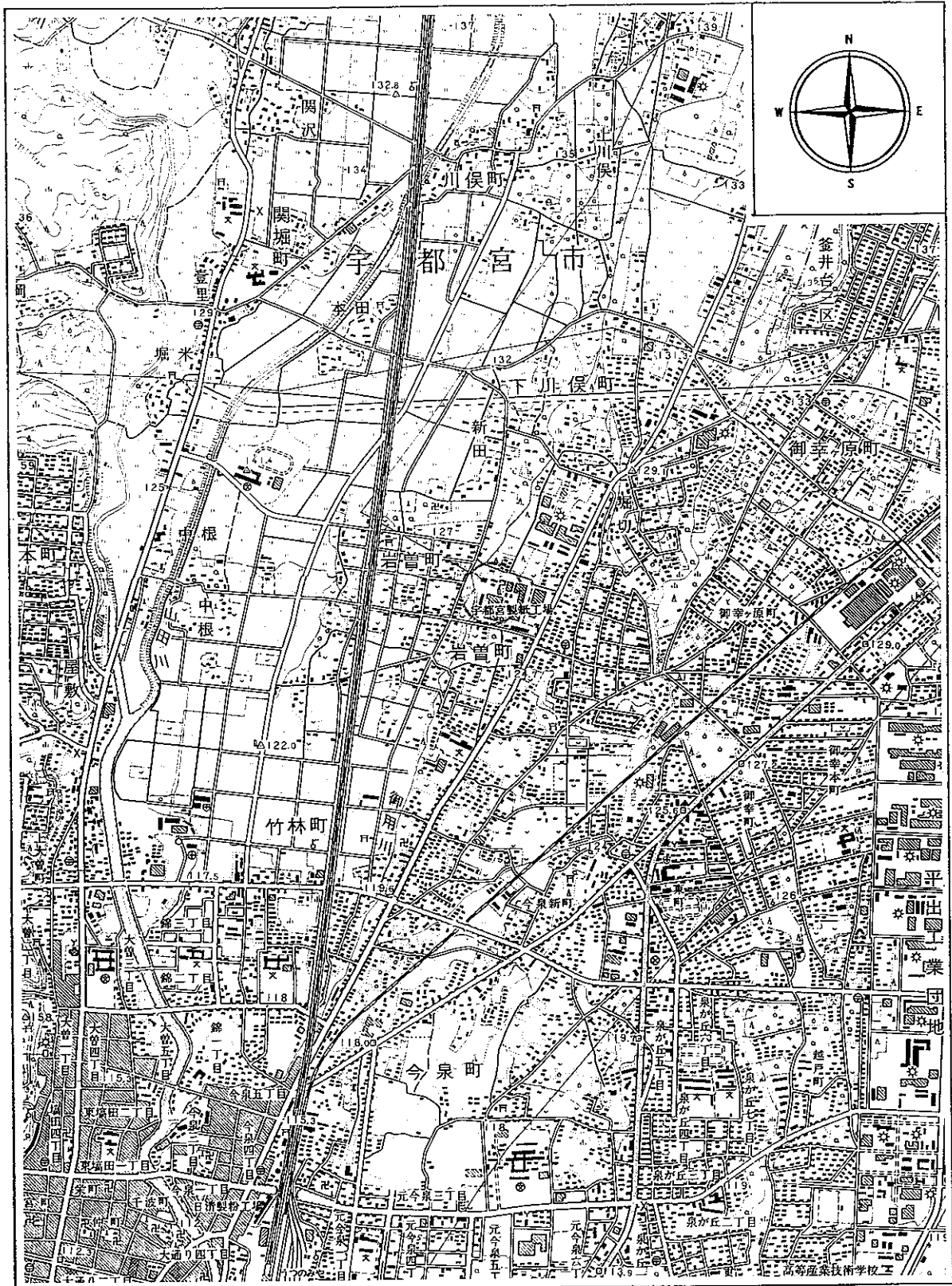
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

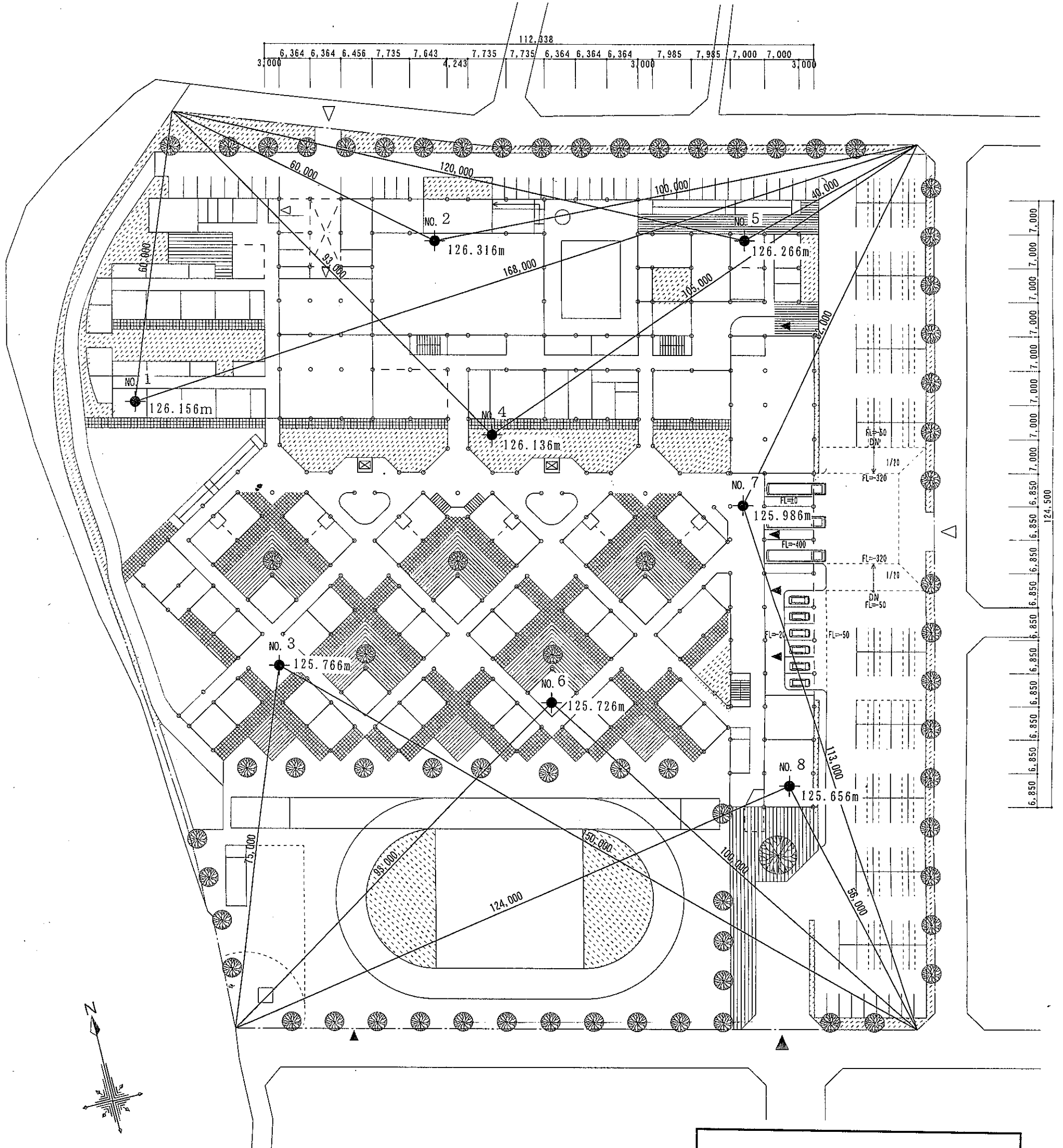
# 調査地案内図



○ 調査地

1 : 25,000

# 調査位置図 縮尺 1 : 800



**凡 例**

●印はボーリング調査地点 No.1~No.8  
 添え数字は調査地点の標高 (TP+m)



# ボーリング柱状図

調査名 栃木県立野沢養護学校（移転）新築工事に伴う地質調査

ボーリングNo. 2

事業・工事名

シートNo. 01-406

ボーリング名	No. 2		調査位置	栃木県宇都宮市岩曾町沢向地区			北緯	36° 34' 59.0"		
発注機関	栃木県土木部建築課			調査期間	平成 13年 11月 2日 ~ 13年 11月 5日			東経	139° 54' 47.0"	
調査業者名	株式会社 桂設計 電話 (03-3269-6411)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者 桜間弘之		ボーリング責任者	坂田俊彦		
孔口標高	126.316m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	YBM-05	
総掘進長	9.30m	度		向				ハンマー落下用具	トンビ	
								エンジン	MS75	
								ポンプ	GP-5	

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験深度 (m)	試験名および結果	試料採取深度 (m)	採取方法	室内試験 (掘進月日)	
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値						
1	124.82	1.50	1.50		埋土	暗褐〜黒			全体に腐植質粘性土主体。所々、碎石・礫等多く混入。	1.15	2/11	2/9	5/30	5		1.15	1	①	
2	124.07	0.75	2.25		凝灰質シルト	黄褐		やや軟	含水小。炭化物・有機物等点在。	1.45	3	15	21	39	39	1.45	2	①	
3					玉石混り砂礫	褐灰〜黄褐灰		密な〜非常に密な	上部、含水中位。礫：φ3cm以下の小礫主体。所々、φ10〜20cmの玉石混入。マトリックス：中砂〜粗砂。	2.45	26	21	3	50	71	2.45	3	①	
4					玉石混り砂礫	褐灰〜黄褐灰		密な〜非常に密な	6.0m付近より淡褐灰となる。	3.15	23	27	9	50	79	3.15	4	①	
5					玉石混り砂礫	褐灰〜黄褐灰		密な〜非常に密な	7.50m付近より黄褐灰となる。	3.36	24	26	50	75	3.36				
6					玉石混り砂礫	褐灰〜黄褐灰		密な〜非常に密な	7.50m付近より黄褐灰となる。	4.15	32	18	4	50	107	4.15	5	①	
7					玉石混り砂礫	褐灰〜黄褐灰		密な〜非常に密な	7.50m付近より黄褐灰となる。	4.34	50	9	50	167	4.34				
8					玉石混り砂礫	褐灰〜黄褐灰		密な〜非常に密な	7.50m付近より黄褐灰となる。	5.15	19	20	11	50	63	5.15			
9	117.02	7.05	9.30		玉石混り砂礫	褐灰〜黄褐灰		密な〜非常に密な	含水大。全体に所々、逸水し、崩壊性する。	6.15	37	13	5	50		6.15	6	①	
										6.29					6.29				
										7.15					7.15				
										7.24					7.24				
										8.15					8.15				
										8.39					8.39				
										9.15					9.15				
										9.30					9.30				

# ボーリング柱状図

調査名 栃木県立野沢養護学校（移転）新築工事に伴う地質調査

ボーリングNo. 3

事業・工事名

シートNo. 01-406

ボーリング名	No. 3		調査位置	栃木県宇都宮市岩曾町沢向地区			北緯	36° 34' 57.0"					
発注機関	栃木県土木部建築課			調査期間	平成 13年 11月 6日 ~ 13年 11月 7日			東経	139° 54' 44.0"				
調査業者名	株式会社 桂設計 電話 (03-3269-6411)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	桜間弘之		ボーリング責任者	坂田幸司				
孔口標高	125.766m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	YBM-05	ハンマー 落下用具	トンビ	
総掘進長	8.30m	度		向				エンジン	MS75	ポンプ	GP-5		

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 年月日	掘進 月日	
									深 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数/ 貫入量 (cm)	N 値							
1	124.42	1.35	1.35	埋土	暗褐~黒			全体に腐植質粘性土主体。所々、ガラ・碎石等混入。	1.15	1	1	2	4/30	4	1.15	1	Ⓟ		
2	123.52	0.90	2.25	凝灰質シルト	黄褐	硬い		均質、粘性小。所々、砂分及び細礫混入。	1.45	10	40	50	18	83	1.45	2	Ⓟ		
3				玉石混じり砂礫	褐灰	非常に密な		含水小~大位。 φ3cm以下の礫主体。 所々、φ10~20cm程の玉石混入。	2.33	17	33	50	16	94	2.33	3	Ⓟ		
4									4.15	25	25	50	14	107	4.15	4	Ⓟ		
5								5.0m付近、砂分を多く混入。	4.29	12	15	23	50	50	4.29				
6									5.45	22	28	50	20	75	6.15	5	Ⓟ		
7									6.35	23	27	50	18	83	6.35				
8	117.47	6.05	8.30						7.15	35	15	50	15	100	8.15	6	Ⓟ		
									8.30						8.30				







# ボーリング柱状図

調査名 栃木県立野沢養護学校（移転）新築工事に伴う地質調査

ボーリングNo. 6

事業・工事名

シートNo. 01-406

ボーリング名	No. 6		調査位置	栃木県宇都宮市岩曾町沢向地区			北緯	36° 34' 57.0"					
発注機関	栃木県土木部建築課			調査期間	平成 13年 11月 8日 ~ 13年 11月 9日			東経	139° 54' 47.0"				
調査業者名	株式会社 桂設計 電話 (03-3269-6411)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	桜間弘之		ボーリング責任者	坂田幸司				
孔口標高	125.726m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	YBM-05	ハンマー 落下用具	トンビ	
総掘進長	9.32m	度		向				エンジン	MS75	ポンプ	GP-5		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				N 値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 ( )	掘進月日		
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0								10	20
1				埋土	暗褐			全体に腐植質粘性土主体。所々、黄褐シルト塊混在。所々、ガラ・碎石混入。		1.15	1	1	2	4	4		1.15	1	Ⓟ			
2	123.53	2.20	2.20							1.45	15	35	50	20	75		1.45					
3				玉石混じり砂礫	黄褐灰 ~ 褐灰 ~ 黄褐灰		非常に密な	含水下位に従って小~大となる。マトリクス、中~粗砂。礫: φ3cm以下。所々、φ10~20cm前後の玉石混入。3.0m付近、所々、砂分を多く混入。	11/8 3.20	2.15	17	11	12	40	30	40		2.15	2	Ⓟ		
4										2.35	30	20	7	50	17	88		2.35				
5								5.0m付近、黄褐灰色となる。全体に崩壊性大。		3.15	25	25	50	20	75		3.15	3	Ⓟ			
6										3.45	17	23	10	50	24	63		3.45				
7										4.15	19	18	13	50	27	56		4.15				
8								8.0m付近より、所々、逸水あり。		4.32	20	30	50	20	75		4.32					
9	116.41	7.12	9.32							5.15	31	19	7	50	17	88		5.15	4	Ⓟ		11/8
										5.35								5.35				
										7.15								7.15	5	Ⓟ		
										7.42								7.42				
										8.15								8.15				
										8.35								8.35				
										9.15								9.15	6	Ⓟ		11/8
										9.32								9.32				

# ボーリング柱状図

調査名 栃木県立野沢養護学校（移転）新築工事に伴う地質調査

ボーリングNo. 7

事業・工事名

シートNo. 01-406

ボーリング名	No. 7	調査位置	栃木県宇都宮市岩曾町沢向地区			北緯	36° 34' 57.0"	
発注機関	栃木県土木部建築課			調査期間	平成 13年 10月 29日 ~ 13年 10月 30日		東経	139° 54' 49.0"
調査業者名	株式会社 桂設計 電話 (03-3269-6411)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	桜間弘之	ボーリング責任者	坂田幸司
孔口標高	125.986m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種
総掘進長	8.26m	度		向				試験機
								エンジン
								ハンマー落下用具
								ポンプ

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 掘進月日		
									深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数 / 貫入量 (cm)						N 値	
										0	10	20								
1				埋土	暗褐			全体に粘性土主体。 1.0m付近、黄褐沙塊混入。 所々、碎石・ガラ・礫混入。 2.0m前後、粘性大。	1.15	1	1	1	3/30	3		1.15	1	①	10/29	
2									2.15	1	1	2	2/35	2		2.15	2	②		
3	123.04	2.95		2.95	玉石混り砂礫	褐灰・黄褐灰	非常に密な		含水大。 礫: φ3cm以下の小礫主体。 所々、φ10~20cmの玉石混入。 マトリクス: 中砂~粗砂。 6.0m付近より黄褐灰となる。 全体に崩壊性強い。	2.50	15	20	15	50/27	56		2.50	3		③
4				3.15						17	23	10	50/22	68		3.15	4	④		
5				4.37						50			50/10	150		4.37	5	⑤		
6				5.15						26	24	8	50/18	83		5.15				
7				6.33						50			50/10	150		6.33				
8	117.73	5.31		8.26						7.15	40	10	50/11	136		7.15	6	⑥		
				8.26						8.26										

# ボーリング柱状図

調査名 栃木県立野沢養護学校（移転）新築工事に伴う地質調査

ボーリングNo	8								
---------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo 01-406

ボーリング名	No. 8	調査位置	栃木県宇都宮市岩曾町沢向地区			北緯	36° 34' 55.0"	
発注機関	栃木県土木部建築課			調査期間	平成 13年 11月 9日 ~ 13年 11月 10日			
調査業者名	株式会社 桂設計 電話 (03-3269-6411)	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	桜間弘之	ボーリング責任者	坂田俊彦	
孔口標高	125.656m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0°	
総掘進長	8.34m	度		使用機種	試錐機	YBM-05	ハンマー落下用具	トンビ
				エンジン		MS75	ポンプ	GP-5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		室内試験 ( )	掘進月日	
											深 度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試験名および結果	深 度 (m)	試料採取方法			
1	124.66	1.00	1.00		埋土	暗褐黒褐			全体に粘性土主体。所々、玉石・礫等混入。0.70m以深、黒褐。		1.15	2	2	6/30	6		1.15	1	Ⓟ		
	123.96	0.70	1.70		ローム	茶褐		中位	含水小。所々、炭化物・有機物混入。		1.45	13	37	50/20	75		1.45	2	Ⓟ		
2	123.46	0.50	2.20		シルト混り細砂	黄褐		中位	所々、シルト層挟む。含水小。		2.15	18	20	12/6	58		2.15	3	Ⓟ		
					玉石混り砂礫	褐灰 ~ 黄褐灰		非常に密な	φ3cm以下の小礫主体。礫：珪円礫。所々、φ10~20cmの玉石混入。マトリクス：中砂~粗砂。	11/9 3.20	2.35	16	19	15/8	50/28	54		2.35	4	Ⓟ	
									4.0m付近まで含水中位。		3.15	21	22	7/2	50/22	68		3.15	5	Ⓟ	
									4.50m付近より黄褐灰となる。		3.41	15	20	15/6	50/26	58		3.41	6	Ⓟ	
									5.0m付近より含水大。		4.15	21	29		50/20	75		4.15			
									7.0m付近より褐灰、所々、黄褐灰。		4.43	19	31	9	50/19	79		4.43			
8	117.32	6.14	8.34								8.15						8.15	6	Ⓟ	11/10	
											8.34						8.34				